

南魚沼市立地適正化計画の策定への取り組み

～第4回 防災指針、誘導施策について～

【問合せ】都市計画課 ☎773・6662

立地適正化計画とは？

市では、今後も人口減少・少子高齢化の継続が想定される中、安全・安心な暮らしやすいまちを構築するため、立地適正化計画の策定に向けて取り組んでいます。これまでの検討内容については、市ウェブサイト「[ニュースレター]」で検索)をご覧ください。

今回は、誘導区域を対象に、自然災害によるリスクを分析し、まちづくり上の課題と対策を検討した「防災指針」と、南魚沼市が抱える地域課題に対して、立地適正化計画の中で取り組む「誘導施策」の検討結果を紹介します。

防災指針について

居住誘導区域を対象に、自然災害に対するリスクを評価し、まちが災害に対して強靱でかつ避難が可能な構造になることを目的に、まちづくりの観点からの課題を捉え、具体的な施策を示すものです。

■ 災害リスクの評価

① 水災害（洪水、雨水出水）▶ 浸水深3.0m以上（2階が床上浸水）と3日間以上の浸水を高リスクと評価

・評価対象河川と想定雨量

対象河川	確率降雨の規模	発生確率	想定雨量(各河川流域)
魚野川	高頻度	1度/10年	2日間総雨量 159mm
	中高頻度	1度/30年	〃 194mm
	中頻度	1度/50年	〃 212mm
	計画規模 [L1]	1度/100年	〃 235mm
	想定最大規模 [L2]	1度/1,000年	〃 628mm
三用川	計画規模 [L1]	1度/30年	24時間総雨量 186mm
	想定最大規模 [L2]	1度/1,000年	2日間総雨量 938mm
水無川	計画規模 [L1]	1度/100年	48時間総雨量 330mm
	想定最大規模 [L2]	1度/1,000年	〃 935mm
三国川	計画規模 [L1]	1度/100年	2日間総雨量 298mm
	想定最大規模 [L2]	1度/1,000年	〃 867mm
古川・寺沢川・吹木沢川	計画規模 [L1]	1度/30年	24時間総雨量 152mm
	想定最大規模 [L2]	1度/1,000年	24時間総雨量 813mm
城ノ入川	計画規模 [L1]	1度/100年	1時間雨量 67.2mm
	想定最大規模 [L2]	1度/1,000年	2日間総雨量 938mm

② 土砂災害 ▶ レッドゾーン・イエローゾーン、砂防指定地を高リスクと評価

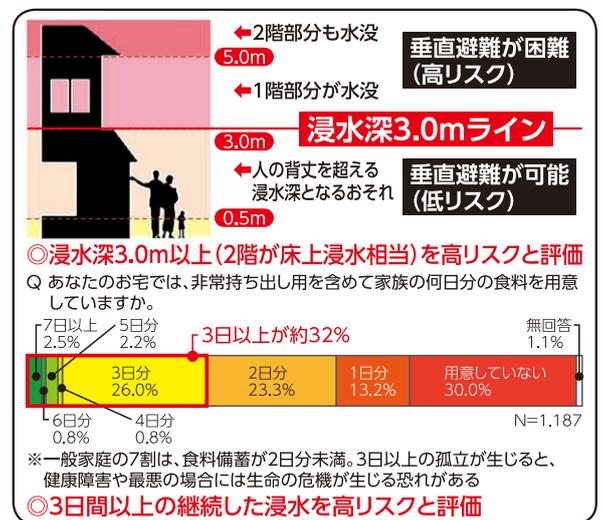
- ・評価対象：市街地と接する魚沼丘陵、越後山脈の斜面
- ・評価基準：レッドゾーン・イエローゾーン、砂防指定地

区分	名称	根拠法	居住誘導区域の設定上の扱い
レッドゾーン	土砂災害特別警戒区域	土砂災害防止法	原則として含まない
	地すべり防止区域	地すべり等防止法	
	急傾斜地崩壊危険区域	急傾斜地法	
イエローゾーン	土砂災害警戒区域	土砂災害防止法	総合的に勘案し、適切でない判断される場合は、原則として含まない

③ 地震災害

- ・評価対象：六日町断層帯
- ・評価基準：地震についてはいつ、どこで、どの程度の規模で発生するか予測不可能であり、立地適正化計画における誘導的手法では災害リスクのコントロールが困難であることから、講ずる対策の検討は行いません。しかし、土砂災害リスクのある区域（レッドゾーン・イエローゾーン）については、誘導区域からの除外を検討します。また、全市的に建物の耐震化・不燃化を推進します。

・評価基準



出典：洪水浸水想定作成マニュアルの図を加工

